

2026年2月吉日
生活協同組合コープさっぽろ
広報部

組合員さんと一緒につくった「納豆」！ 「みたらし風ひきわり納豆」2/16販売開始のお知らせ

生活協同組合コープさっぽろ（以下、コープさっぽろ）の関連会社である北海道はまなす食品株式会社（本社：北海道江別市、代表：石山博文）では、組合員さんと一緒に商品開発を行った「みたらし風ひきわり納豆」を、店舗では2月16日（月）より、宅配システムトドックでは3月第1週企画にて販売を開始いたします。

この納豆は、コープさっぽろの60周年企画のひとつで、「組合員さんの声を直接聞きたい」という現場の想いから始まりました。全道の組合員さんへのアンケートや試食会を重ね、商品化が決定しました。

たれには北海道産丸大豆しょうゆと、コクのあるてんさい糖ブラウンシュガー、糖蜜を使用。甘さが納豆の風味をやわらげ、子どもや納豆が苦手な方にも食べやすい味わいに仕上りました。納豆はたれとの一体感を重視し、表面積の広いひきわりを採用。製造工程と原価の課題を乗り越え、組合員さんの提案から2個パック仕様とすることで、手に取りやすい価格を実現しています。パッケージには「砂糖入れる派」の言葉を記載し、地域文化や食習慣への愛着も表現しました。組合員さんとメーカーが一体となって作り上げた本商品は、納豆の常識を超えたオンリーワンの味として、幅広い世代に新しい驚きと発見を届けます。

つきましては、下記のとおり販売を開始いたしますので、取材のほどよろしくお願ひいたします。

■販売に関する概要

- 商品名 「みたらし風ひきわり納豆」※2パックセット
- 価格 店舗 99円（本体価格）、107円（税込価格）
宅配 100円（本体価格）、108円（税込価格）
- 販売期間 店舗：2026年2月16日（月）～
宅配：3月第1週
カタログ配布：2月16日（月）～20日（金）
注文受付：2月23日（月）～27日（金）
お届け：3月2日（月）～6日（金）
- 販売店舗 コープさっぽろ全店舗、宅配システムトドック
- 商品特徴

コープさっぽろ60周年記念商品として、組合さんの声を取り入れて開発された「みたらし風納豆」です。たれは北海道産丸大豆しょうゆと、精製度の低いてんさい糖ブラウンシュガー、糖蜜を使用。みたらし団子を思わせるやさしい甘さとコクが、納豆の風味と調和し、新しい味の楽しみ方を提案します。納豆はひきわりを採用し、たれが全体にしっかりと絡む設計。全国的にも類のない味わいを持つ、唯一無二のフレーバー納豆です。

- 開発までの経緯の詳細はこちら

<https://www.sapporo.coop/item/coop-product/original-item/mitarashi-natto2025/>



<開発秘話>

■商品の特徴について（北海道はまなす食品 専務 森 清史）

僕らの発想にはなかった要素が、結果的に全部詰まった納豆になりました。砂糖しようゆという発想もなかっただし、ひきわりフレーバー商品もこれまでやったことがない。高くなるなら2個パックにしようという考え方も、最初はありませんでした。

そうした一つひとつが重なって生まれたのが、今回の商品です。納豆メーカーの「常識」を軽く飛び越えた。おそらく、日本全国を見渡してもオンリーワンの納豆です。

その中でも、北海道産原料へのこだわりや、北海道の地域文化がベースになっている点で、本当にコープさっぽろらしい商品ができたと思っています。



■商品開発について（組合員理事の皆さん）

コープさっぽろの60周年ということもあって、「話題になるものがいいよね」という話になった。そう考えると、他の候補も、ほかのメーカーが出していくうだなど。

「砂糖しようゆ」は、ほかにはないオリジナルになりそうな予感がありました。

それで「砂糖しようゆ」に決ました。そのときに森さん（北海道はまなす食品）が「チャレンジしてみよう」と言ってくれて。メーカーさんにとっても挑戦なんだよね。だったら私たちも、とことんチャレンジしようという気持ちになりました。



■商品開発を振り返って（福山醸造 専務取締役 福山誠司さんと製造管理部 小川裕子さん）

商品開発には長く携わってきましたが、消費者の方が実際に何を感じ、どう受け止めているのかを、ここまでダイレクトに聞く機会は、これまでませんでした。

そうした場に立ち会えたことを、とてもありがとうございます。要望に応えていくのは決して簡単ではありませんが、もしされた機会があれば、ぜひ挑戦してみたいです。



■商品への思い（コープさっぽろバイヤー長谷川諒と岡崎晋治）

組合員さんをはじめ、福山醸造さん、はまなす食品、広報部、宅配編集室、バイヤーのみんな...本当にたくさん的人が関わってきた商品です。だからこそ、何が何でも売りたい。1個でも多く届けたい。そのため、やれることはすべてやって、最大値を狙いたいと思っています。

売れることももちろん大事ですが、それ以上に、今までになかったゾーンを提案できることに意味があると思っています。そのままデザート感覚で味わえる納豆って、これまでなかったですよね。

今回、新しい切り口をつくれたことで、納豆の可能性は確実に広がった。そこが、この商品開発プロジェクトの成果だと思います。



【報道関係のお問合せ先】

生活協同組合コープさっぽろ 広報部 広報メディアグループ 森ゆかり・前田楓華
〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 TEL 050-1741-5516 (平日9時~18時)